令和８年度　　大津清陵高等学校馬場分校　学校評価

本年度の重点目標

・学力の基礎・基本の確実な定着および発展に向けて、学習内容の点検と充実を図る。
・社会で自立できる心豊かな人間の育成を目指した取組の充実を図る。
・個々の生徒理解に基づいた生徒支援体制の充実を図る。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	単位制の良さを活かし、特色ある学校経営を行っている。	A		
	教育方針や教育目標に基づき、効果的な教育活動を展開している。	A		
2　学習指導	基礎・基本の定着を目標に授業に取り組んでいる。	A		
	授業内容を工夫し、生徒をひきつける、わかりやすい授業の展開に努めている。	A		
3　生徒指導	生徒や保護者の悩みや相談に親身に対応している。	A		
	いじめの未然防止と早期発見に努め、適切な指導を行っている。	A		
4　進路指導	生徒一人ひとりの進路実現に努めている。	A		
	望ましい勤労観、職業観などの育成に努めている。	B		
5　特別活動等	豊かな人間性の育成を目指した特別活動に取り組んでいる。	B		
	社会性を身につける教育活動に取り組んでいる。	B		
6　学校図書館	学校図書館が利用しやすいように工夫している。	A		
	新着情報の案内など、読書に親しむ指導に努めている。	B		
7　保健・安全指導	心身の健全な発達を正しく理解させると共に、自己の体力・能力を伸長する指導に努めている。	A		
	生徒の事故・怪我・病気等への対応を適切に行っている。	A		
8　人権教育	すべての人の人権を尊重する観点で教育活動を行っている。	A		
	ＬＨＲなどを活用し、人権意識を高める指導に努めている。	A		
9　環境教育	ゴミの分別をはじめとした環境教育に取り組んでいる。	B		
	学習の中に適切に環境学習を取り入れ、環境問題の啓発に努めている。	B		
10　事務・管理	文書管理を適切に行っている。	A		
	施設・設備の安全点検を適切に行っている。	A		
11　その他 学校の取組	生徒一人ひとりの個に応じた対応・指導に取り組んでいる。	A		
	全教職員が積極的に生徒を把握し、学校全体で指導に取り組んでいる。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はＡ、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はＢ、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はＣ、達成できていない場合（達成度40%未満）はＤとする。

学校のＵＲＬ：　https://www.ohtsuseiryo-h.shiga-ec.ed.jp/